

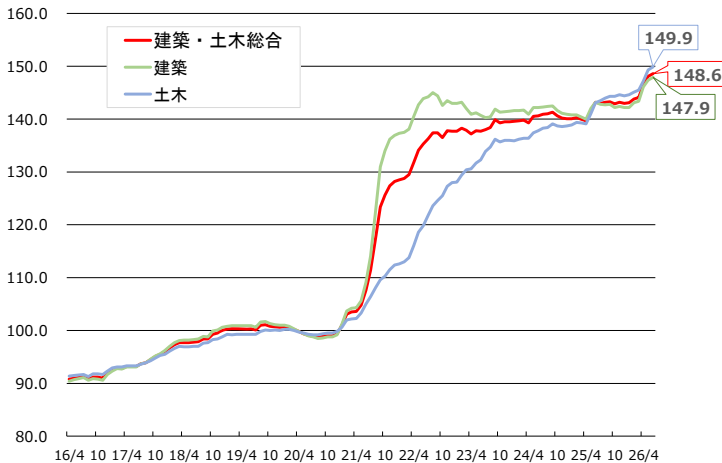
積算資料 建設資材価格指数

ER 一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所

建設資材価格指数は、建設工事で使用される資材についてその価格変動を総合的に捉えることを目的とした指数です。年々変化する建設工事の内容に対応した総体的な価格変動を表す総合資材価格指数として、価格変動に係わる資料や効率的な資材確保の資料等としてご利用下さい。

指数の推移（2026年6月調査）

全国・2020年度平均=100



	当月指数	前月比	前年同月比
建築・土木総合	148.6	+0.5	+5.4
建築	147.9	+0.5	+4.7
土木	149.9	+0.6	+6.8

指数の詳細な計算結果はこちら
<https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/price/>



部門別 主な指数の動き（主要10都市）

	前月比 プラス	前月比 マイナス
建築・土木総合	<ul style="list-style-type: none">●生コンクリート：+1.8札幌●コンクリート二次製品：+0.1広島●骨材：+3.7東京●普通鋼鋼材：+3.2大阪、+2.7那覇、+2.2札幌、+2.1広島、+1.6福岡、+1.5新潟、+1.4高松、+1.0仙台、+0.9東京、名古屋	
建築	<ul style="list-style-type: none">●コンクリート二次製品：+0.2広島●骨材：+2.5東京●普通鋼鋼材：+4.1大阪、+3.5那覇、+2.5札幌、福岡、+2.4広島、+2.3高松、+1.4仙台、新潟、+1.1東京、名古屋	
土木	<ul style="list-style-type: none">●生コンクリート：+3.5札幌●コンクリート二次製品：+0.1広島●骨材：+6.6東京●普通鋼鋼材：+2.0札幌、+1.7新潟、+1.6那覇、+1.5広島、+1.1大阪、+0.7東京、名古屋、+0.6仙台、+0.3高松、福岡	

指数集計対象資材の市況

6月調査に基づく建設資材価格指数は、建築・土木総合で前月比0.5ポイント上昇した148.6となり、過去最高値となった。また、建築、土木の両指数も上昇。3指数が揃って過去最高値を更新するのは3カ月連続で、資材価格の騰勢が強まっている。この要因として、不安定な中東情勢を背景とした石油系資材の市況上伸が挙げられるが、足元では普通鋼鋼材や骨材など、石油系以外にも価格上昇の動きが広がっている。ホルムズ海峡封鎖解除合意後も、中東産原油の供給正常化には不透明感が残ることから、資材市況は当面、強含みの展開が続くと見られる。そのため、指数も引き続き高水準で推移すると見込まれる。

指数に関するお問い合わせ先

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所 研究成果普及部 TEL.03-5777-8212